

小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：平成26年8月19日（火）

午前10時から

場所：第二庁舎8階 801会議室

1 開 会

2 小金井市児童発達支援センター「きらり」 7月末までの実績報告

3 第2回の引き継ぎ案件

- ・ 保育所等訪問支援事業の状況
- ・ 外来訓練事業の状況
- ・ 親子通園事業の状況

4 アンケート

- ・ 関係機関職員向けアンケート
- ・ 利用者向けアンケート

5 委員発議の討論テーマ

6 次回の開催日及び内容について

7 閉 会

■ 配布資料

- 資料1 小金井市児童発達支援センター「きらり」実績報告
- 資料2 保育所等訪問支援事業の状況
- 資料3 外来訓練事業の状況
- 資料4 親子通園事業の状況
- 資料5 関係機関職員向けアンケート（案）
- 資料6 利用者向けアンケート（案）
- 資料7 委員提案意見一覧
- 資料8 「さくらシート」利用（案）
- 資料9 小金井市児童発達支援センター運営協議会スケジュール

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

平成26年7月31日現在

	平成26年										平成27年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	13件	12件	14件	18件									57件	
②相談支援事業（専門）	37件	53件	45件	42件									177件	
③相談支援事業（㊄）	14件	18件	26件	17件									75件	

	平成26年										平成27年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	20人	20人	20人	20人									-	
⑤放課後等デイサービス	48人	48人	49人	50人									-	
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	1人	1人									-	
回数	0回	0回	1回	1件									2件	
⑦親子通園事業	6人	6人	11人	11人									-	
⑧外来訓練事業	39人	41人	46人	46人									-	
回数	94回	90回	110回	117件									411件	

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（㊄）	相談者、関係機関等との電話での相談。予約受付は数に含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数

保育所等訪問支援

1 目的

保育所等訪問支援は、保護者の要望に応じ訪問先と調整の上、保育所・幼稚園や小学校などの中で子どもたちに対する支援を行います。子どもが集団生活に適応し、集団生活を継続できることを目的とし、療育経験のある専門職員がニーズに応じて保育所・幼稚園や小学校などに訪問し、支援を行います。

2 職員数

職種	人数	職種	常勤(名)	非常勤(名)
センター長	1	臨床心理士		2
副センター長	1	作業療法士	1	
児童発達支援管理責任者	1			

3 対象児 年齢 18歳未満のお子さま

4 療育時間・日数 保護者・訪問する施設・専門員と応相談 利用最大日数は月3回とする 9:00～18:00(2～4時間：保護者・訪問する施設・専門員と応相談)

5 訪問先 保育所・幼稚園・認定こども園 小学校・中学校・高等学校 学童クラブ

6 支援方法 保育や授業の様子を行動観察し、先生方との情報交換を行います。 保育や授業の中で、お子さまに応じた支援を行います。 実際の支援の方法については、上記の方法を含めて、お子さまの様子、保護者の希望、担任・担当の先生の意向などを踏まえて相談して行います。

外来訓練

1 目的

心身の発達に心配がある、または配慮が必要な就学前のお子さまを対象に個別訓練（ST、OT、PT、心理）やグループ訓練を行います。

2 職員数

職種	人数	職種	常勤(名)	非常勤(名)
センター長	1	臨床心理士		3
副センター長	1	作業療法士		4
児童発達支援管理責任者	1	言語聴覚士	1	1
児童指導員	1	理学療法士		1
		相談員		3

3 対象児 年齢 未就学のお子さま

4 療育時間 個別訓練 : 月曜日～金曜日 9:30～14:30 (1時間)
グループ訓練 : 月曜日～金曜日 10:00～11:30

5 一日のプログラム

○ 個別訓練 1時間の中でお子さまに合わせたプログラムを訓練士が組み立てて行います。

○ グループ訓練

時刻	活動	ねらい	具体的内容
10:00	登園・お支度	自分の荷物管理を身に付ける	提出物・鞆を所定の位置に置く
10:15	朝の会	興味関心を広げる 課題に注目し続ける 歌に合わせて動作の模倣をする	パネル 手遊び歌など
10:30	おやつ	あいさつをする 着席して食べる 要求手段を身に着ける お皿、コップの後片づけをする	お茶・お菓子など
10:45～	リトミック	周囲の様子を見て動作を行う 音楽を聴き分けて動作を行う	道具リトミック・動物リトミック・ペアリトミックなど
	サーキット	順番を理解し守る 身体の使い方を知る	滑り台・平均台・はしご登りなど
	集団遊び	ルールを理解する お友達を意識する 気持ちをコントロールする	しっぽとり・いすとりゲーム・フルーツバスケットなど
	デスクワーク	着席して課題に取り組む 課題に最後まで取り組む 課題に注目し、指導員の関わりに応じる	積み木などの構成課題・えんぴつ課題・手先の課題など
11:25	帰りの会	絵やお話に注目する 帰りの会が終わるまで着席して参加する	紙芝居・絵本など

親子通園

1 目的

心身の発達に心配がある、または配慮が必要な未就園のお子さまと保護者を対象に、小集団での遊びなどを通してお子さまの発達を促します。また、生活の中での関わり方やお子さまの発達の捉え方などを保護者の方々と一緒に考えていきます。

2 職員数

職種	人数	職種	常勤(名)	非常勤(名)
センター長	1	児童指導員	1	
副センター長	1	臨床心理士		2
児童発達支援管理責任者	1	作業療法士	1	
		相談員		1

3 対象児 年齢 1歳～3歳(未就園児)
定員 1グループ 5～6名

4 療育時間 10:00～11:30
月2回

5 一日のプログラム

時刻	活動	ねらい	具体的内容
10:00	自由遊び	場に慣れる お友達や他の大人を意識し、関わる機会を持つ いろいろな遊びを経験する	
10:15	お集まり	保護者と一緒に参加し、繰り返される活動の流れを予測したり、活動の始めと終わりを意識する 座って待つ、順番を待つ 見る力を養う 手遊びなどを通して模倣する力を育て、親子で楽しむ	ペープサート・パネルシアター・紙芝居・手遊び歌など
10:30	おやつ	座って食べる 順番を待つ 要求をする	お茶とお菓子
10:45	遊び 身体遊び スキンシップ遊び 感触遊び	模倣する力を育てる ボディイメージを育てる 身体の動きをコントロールする 親子でのやりとりを楽しむ	シーツブランコ・お母さんと手をつないで歩く・子どもの身体を意識的に触るなど
11:00	課題遊び	いろいろな遊具を経験する 遊びをリードし、見本を提示し、お友達の動きを意識する	すべり台・箱ぐるま・トンネル・ボールプール・新聞ちぎり
11:20	振り返り	共通の悩みや関心事について保護者の体験談を聞いたり、情報交換して育児にいかす グループ活動の感想を聞く 子どもの個性や発達の特性についての理解を深める 今後の生活・進路について考える	

平成 26 年 9 月 吉日

関係機関の皆様

「きらり」に関するアンケート

初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成 25 年 10 月 1 日に開設した小金井市児童発達支援センター「きらり」（以下「きらり」という。）ですが、その業務内容について検証・検討を行い、さらなるサービスの向上に努めていきたいと考え、お忙しい中申し訳ございませんが、下記内容への回答をよろしく願います。

記

Q1: あなたが所属する機関はどちらですか?

- 公立保育園 民間保育園 民間幼稚園 小学校
 中学校 相談機関（保健センター、教育相談所等）

Q2: あなたは何年目の職員ですか? (今の仕事について何年目ですか?)

- 1 年未満 1 年以上から 3 年未満 3 年以上から 5 年未満
 5 年以上から 10 年未満 10 年以上

Q3: 「きらり」を知っていますか?

- 実施事業も含めて知っている 施設があることは知っている
 名前を聞いたことがある 知らない (Q5 へお進みください)

Q4: 知っている方にお聞きします。「きらり」を何で知りましたか?

- 市報 HP 講演会・研修会 友人・知人
 保護者 その他 ()

Q5: 「きらり」では、専門的な療育として言語訓練や作業療法等を行っていますが、その他に「きらり」期待していることはありますか? (複数選択可)

- ある なし

※「ある」を選ばれた方は、期待している内容をお書きください。

Q6: 「きらり」では、関係機関の皆様と連携して、お子さまの成長を見守っていきたいと考えていますが、連携をするために必要なことは何ですか? (複数選択可)

- 連携先の方針を知る 連携先の予算を知る
 連携先に定期的に顔を出す 個人情報の交換ができるように整理する
 「きらり」をもっと周知する その他

※「その他」を選ばれた方は、具体的に内容をお書きください。

Q7: さくらシートをご存知ですか?

- 知っている 知らない (Q9へお進みください)

Q8: さくらシートを知っている方にお聞きします。さくらシートを何で知りましたか?

- 市報 HP 講演会・研修会 友人・知人
 保護者 その他 ()

Q9: さくらシートは、保護者がお子さまの状況を記載し、関係機関で同じ説明をしないようにするために作成しましたが、保護者から提示されたことはありますか?

- ある なし

Q10: 「ある」を選んだ方にお聞きします。何件程度ありましたか?

- 1件 2件 3件 4件 5件以上

Q11: 提示されたさくらシートはどうされましたか?

- 提示された時に目を通した 必要部分を転記またはコピーし保管
 ファイルの内容を元に保護者と面談を行った
 利用しなかった
 その他 ()

Q12: さくらシートは参考になりましたか?

- 対応面で参考となった 計画を作成するのに参考となった
 面談の際の参考となった 参考にならなかった
 その他 ()

Q13: さくらシートを今の事業で活用するために必要なことは何ですか? (複数選択可)

- 各シートの作り直し 利用方法の見直し 他のシートとの統合
 さくらシートの勉強会 さくらシート利用ガイドブック
 その他

※「その他」を選ばれた方は、具体的に内容をお書きください。

ご協力ありがとうございます。いただきました結果につきましては、自立生活支援課で集計し、小金井市児童発達支援センター運営協議会へ提出させていただきます。

問合せ先

小金井市福祉保健部自立生活支援課 担当:

TEL: 042-387-9848 FAX: 042-384-2524

E-mail: s050299@koganei-shi.jp

平成26年12月吉日

「きらり」を利用する保護者様

「きらり」の利用に関するアンケート

師走の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成25年10月1日に開設した小金井市児童発達支援センター「きらり」ですが、その業務内容について検証・検討を行い、さらなるサービスの向上に努めていきたいと考え、お忙しい中申し訳ございませんが、下記内容への回答をよろしくお願いたします。

記

Q1: ご利用の事業はなんですか? (一つお選びください)

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 相談支援事業 | <input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援事業 |
| <input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス事業 | <input type="checkbox"/> 児童発達支援事業 |
| <input type="checkbox"/> 外来訓練事業 | <input type="checkbox"/> 親子通園事業 |

※相談支援事業は、相談支援事業のみを利用している方のみチェックをお願いします。

Q2: 提供しているサービス内容についてどう感じていますでしょうか?

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大変満足である | <input type="checkbox"/> 満足である | <input type="checkbox"/> どちらとも言えない |
| <input type="checkbox"/> 不満である | <input type="checkbox"/> 大変不満である | |

※Q2で選んだ理由をご記入いただける方はお願いします。

Q3: 運営事業者にお聞きします。市が委託をしています運営事業者についてどのように考えていますか?

- | | |
|---------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大変満足でき、このまま継続してほしい | <input type="checkbox"/> 満足でき、このまま継続してほしい |
| <input type="checkbox"/> どちらかという満足している | <input type="checkbox"/> どちらかという不満がある |
| <input type="checkbox"/> 不満があり、変えてほしいと思う | <input type="checkbox"/> 大変不満があり、変えてほしい |

※Q3で選んだ理由をご記入いただける方はお願いします。

Q4：現在利用している事業に実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

※ある方はご記入をお願いします。ない方は次の設問をお願いします。

Q5：自由意見（ご自由に意見要望等をご記入ください。）

以上となります。ご協力ありがとうございました。

回答終了後は、「きらり」受付または小金井市役所第二庁舎2階自立生活支援課窓口へ提出をお願いします。

問合せ先

小金井市福祉保健部自立生活支援課

担当：岡本 幸宏

TEL：042-387-9848（直通）

FAX：042-384-2524

児童発達支援センター運営協議会 委員提案 一覧

	提案者	提案日	提案内容	対応	調整
1	花岡委員	平成25年12月19日	提案として、事業内容にそって質問や疑問等を出しあい、今後の見通し、改善点など意見が出しやすい場であると今後のセンターの発展へとつなげられるかと思ひます。	第2回の運協で各事業について質問を受ける時間を設ける。	2月18日
2	花岡委員	平成25年12月19日	通常通園、放課後等デイサービス、相談支援事業、外来訓練等利用者の声(意見)をお聞きしたいです。また、これらの中で、改善点がある場合など、協議会でけんとうできるとよいかと思ひます。	利用者にアンケートをとっており、その内容で対応済み	2月18日
3	林委員	平成26年2月7日	・通園バスに「ぴのきお」のプレートを付けて欲しい。	調整する	2月18日
4	林委員	平成26年2月7日	・一時保育を早く開始できないか。	検討中である	2月18日
5	林委員	平成26年2月7日	・延長保育を可能にできないか。	放課後等デイサービス事業があるため無理である	2月18日
6	林委員	平成26年2月7日	・幼稚園を休まなくても外来訓練が受けられるよう午後の時間(グループの訓練が午前しかない)を設けてほしい。	放課後等デイサービス事業があるため無理である	2月18日
7	林委員	平成26年2月7日	・療育料の引き落としを早めに進めてほしい。	検討中である	2月18日
8	林委員	平成26年2月7日	・会議室の予約や使用時間について	一部の方が1日抑えてしまうと他の方へ影響が出るため難しい。	2月18日
9	林委員	平成26年2月7日	・さくらシートを使いやすくハンドブック化してはどうか。	調整する	2月18日
10	花岡委員	平成26年2月18日	入園決定の方法について教えてほしい。	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
11	坂口副会長	平成26年2月18日	関係機関職員向けアンケートを実施してほしい。	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
12	宮崎委員	平成26年2月18日	緊急一時保育(再考)	実施時期等について検討を進めてい	5月20日
13	宮崎委員	平成26年2月18日	延長保育(再考)	「きらり」は療育を中心としていることから難しい。保育を希望するのであれば、保育園等を紹介するのも検討していく必要がある。	5月20日
14	宮崎委員	平成26年2月18日	2F~3F踊り場の隙間について	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
15	宮崎委員	平成26年2月18日	保険の有無	第3回運営協議会で説明する。	5月20日

	提案者	提案日	提案内容	対応	調整
16	宮崎委員	平成26年2月18日	「ぴのきお」「ピノキオ」どちらが正式？	「ピノキオ」は著作権があるため、「ぴのきお」と表記をしています。	5月20日
17	宮崎委員	平成26年2月18日	「ぴのきお」という愛称を職員の方(通園の先生方)があまり使わないのはなぜ？	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
18	宮崎委員	平成26年2月18日	「ぴのきお幼稚園」の歴史が残るように、きらり内に沿革を掲示して頂きたい	第3回運営協議会で、どのようなことを考えられているのか説明をいただき、検討したい。	5月20日
19	宮崎委員	平成26年2月18日	一人の子どもがセンターのサービスを複数使えるようにして頂きたい	療育に力を入れており、	5月20日
20	宮崎委員	平成26年2月18日	バス(送迎車)の「ピノキオ」プレートを前後及び横に表示して頂きたい	バスはリースであり、加工はできない。	5月20日
21	宮崎委員	平成26年2月18日	けやき保育園との交流イベントを増やして欲しい	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
22	笠井委員	平成26年5月20日	「さくらシート」の使い方について説明をしてほしい	第4回運営協議会で説明する。	8月19日

【支援シートの種類及び内容等一覧表】

区分	No.	シート名	内 容	現場での使用方法	保護者の使用方法
共通・基本	1	フェイスシート	本人、保護者の基本情報、 家族構成	家族背景、家族環境、キーパーソンの把握に役立ててください。	シートの表紙として保管し、緊急時等や関係機関等への引き継ぎの際、誰もが見やすく分りやすい資料としてご使用になれます。 お子さまの成長において基本となる部分です。
	2	既往（病気などの記録）	感染症、かかった時期、予防接種、病状・合併症、大きな病気、ケガなどについて	児童の感染リスクや救急搬送する際の隊員への報告に役立ててください。	
	3	医療情報・薬	飲んではいけない薬、常用薬、服用状況、配慮すること	食事の配慮、アナフィラキシーショックの対応に役立ててください。	
	4	医療情報	特に気をつけてもらいたい病状について	疾患の症状を把握することが出来、校内や事故のリスク管理に役立ちます。また、相談や確認等をかかりつけの医療機関に問い合わせするときに一覧表として分りやすくなっています。体育や運動会など、症状が影響されることへの参考にしてください。	
	5	相談・検査の履歴	相談した機関、年月日、相談内容 行った検査、実施日、結果	保護者がどういった子育ての不安があり、相談に至った経緯を把握することで、支援者のカウンセリングマインドに役立ちます。	
乳幼児期	6	わたしの年表（乳幼児期）	保育所、幼稚園、通園施設、病院、療育相談機関など すきなこと、習いごとなどについて	保護者が支援者に児童の生い立ちや出来事で伝えきれなかった部分を知ることが出来ます。面談等の資料として参考にご使用ください。	就学の際に、面談や面接等で伝えきれない部分がないよう、保護者の伝言マニュアルとしてご使用になれます。 また、成長の記録簿としても使っていくことができます。
	7	生い立ち	出生時の状況や発達の状況、定期健診の受診状況	異常分娩や発育の遅れによって、児童の生育状態を把握することが出来ます。1. 6歳健診への影響の有無の参考になります。	
	8	1歳6か月の姿	運動・感覚、意思疎通の方法、対人関係、行動特徴、基本的な生活習慣、1歳6か月健診の受診状況	保護者への気づきにもつながり、3歳児健診までに現在の問題点を、家庭内の工夫でどれだけ改善しているかの参考になります。	
	9	3歳の姿	運動・感覚、意思疎通の方法、対人関係、行動特徴、基本的な生活習慣、3歳児健診の受診状況	保護者への気づきにもつながり、支援者が介入するか否かの判断材料になります。	
	10	5歳の姿	運動・感覚、意思疎通の方法、対人関係、行動特徴、基本的な生活習慣	保護者への気づきと就学相談へのキッカケにもなります。面談等にお役立てください。	得意な部分を伸ばして学校生活を楽しく過ごせるよう、この時期にお子さんの困っている部分を分析し、就学に向けて家庭内療育・支援方法によって得意部分を伸ばす準備の判断が出来ます。

区分	No.	シート名	内 容	現場での使用方法	保護者の使用方法
学 齢 期	11	わたしの年表 (学齢期)	所属(学校、通所施設など)、病院、療育相談機関などについて すきなこと、習いごとなどについて	保護者が支援者に児童の生い立ちや出来事で伝えきれなかった部分を知ることが出来ます。面談等の資料として参考にご使用ください。	子育てが学校と家庭だけではなく、他の社会資源や支援によって、市内全体で子育てが出来る情報共有の資料としてご使用になれます。
	12	小学1年生～中学3年生シート	担任、学校等について 保護者・本人の希望 生活習慣、学習、友人関係、運動面等について	家庭での様子や、保護者が児童の状態をどのように捉えているのかを知ることが出来ます。支援者の介入の有無や面談等の資料として参考にご使用ください。	
	13	わたしの生活地図～()年生	よく行く場所、学校、放課後・余暇、友達・仲間、支援者、本人の思い・願い、親の思い・願い、相談・緊急時避難拠点等	児童を取り巻く環境を、全体像にして見やすくまとめたものです。	
高 校 ・ 大 学 他	11	わたしの年表 (学齢期)	所属(学校、通所施設など)、病院、療育相談機関などについて すきなこと、習いごとなどについて	保護者が支援者に児童の生い立ちや出来事で伝えきれなかった部分を知ることが出来ます。面談等の資料として参考にご使用ください。	就労に向けて、社会に繋がっていくための資料です。得意な分野を将来に役立てていけるよう、情報共有していく資料としてご使用ください。
	14	わたしの年表 (青年期)	所属(勤務先、学校、通所施設など)、病院、相談機関などについて 余暇活動、趣味などについて	保護者が支援者に児童の生い立ちや出来事を伝えきれなかった部分を知ることが出来ます。面談等の資料として参考にご使用ください。	
	15	高校1年生～大学4年生、専門学校生シート	学校名、担任の氏名、教育相談、校外教育相談機関等生活習慣、学習、友人関係、運動面等	保護者が支援者に児童の生い立ちや出来事を伝えきれなかった部分を知ることが出来ます。面談等の資料として参考にご使用ください。	
	13	わたしの生活地図～()年生	よく行く場所、学校、放課後・余暇、友達・仲間、支援者、本人の思い・願い、親の思い・願い、相談・緊急時避難拠点等	児童を取り巻く環境を、全体像にして見やすくまとめたものです。	
成 人 期	14	わたしの年表 (青年期)	所属(勤務先、学校、通所施設など)、病院、相談機関などについて 余暇活動、趣味などについて	保護者が支援者に児童の生い立ちや出来事を伝えきれなかった部分を知ることが出来ます。面談等の資料として参考にご使用ください。	就労に向けて、社会に繋がっていくための資料です。得意な分野を将来に役立てていけるよう、情報共有していく資料としてご使用ください。
	16	わたしの年表 ()歳代	所属(勤務先、通所施設など)、病院、相談機関などについて 余暇活動、趣味などについて	保護者が支援者に児童の生い立ちや出来事で伝えきれなかった部分を伝えることが出来ます。面談等の資料として参考にご使用ください。	
	17	わたしの年表 (70歳～)	所属(通所施設など)、病院、相談機関などについて 余暇活動、趣味などについて	保護者が支援者に児童の生い立ちや出来事で伝えきれなかった部分を知ることが出来ます。面談等の資料として参考にご使用ください。	
	18	成人期の生活状況	居住場所、主な移動手段、日常生活、本人の願いや目標、主な日中活動、余暇活動、趣味・特技	本人の生活状況や就労への展望のチェックシートです。就労支援の際の状況確認の資料としてご使用ください。	
成 人 期	19	成人期のアセスメントシート①	食生活、清潔保持、健康管理、作業能力、理解の仕方、時間、対人関係、モラル・マナー、交通手段、住まい、社会資源の活用等	本人の生活状況や就労への展望のチェックシートです。就労支援の際の状況確認の資料としてご使用ください。	ご本人が社会の中での生き辛さを軽減するよう、自己管理チェックシートとしてご使用ください。
	20	成人期のアセスメントシート②	身体的側面、精神的側面(最近受けた発達検査について)本人の特性等	発達障がいや精神疾患の判断資料としてご使用ください。	
	21	成人期のアセスメントシート③	日常生活動作、知的な判断能力、コミュニケーション、移動する力、身辺管理能力等(一人暮らし想定記入シート)	支援・介助を細分化する際の資料としてご使用ください。ご本人の自己管理チェックにもなります。	
	22	就労の記録	就労先、住所、連絡先、雇用形態、報酬、移動手段、主な業務内容、業務遂行上の課題、支援・配慮事項等	転職を繰り返す、転職を希望といった場合の確認シートとしてご使用ください。	

区分	No.	シート名	内 容	現場での使用方法	保護者の使用方法
成人期	23	職業訓練の記録	訓練先、住所、連絡先、指導者、居住場所、移動手段、本人の就労への願い、主な訓練内容、指導目標・課題等	就労の際の面談等に参考としてご使用ください。	ご本人が社会の中での生き辛さを軽減するよう、自己管理チェックシートとしてご使用ください。
	24	わたしの生活地図～成人期	よく行く場所、通所施設、職場、余暇活動、友達・仲間、支援者、成年後見人、相談先・緊急時避難拠点等	本人を取り巻く環境を、全体像にして見やすくまとめたものです。	
その他・選択（オプション）	25	福祉情報	持っている手帳、福祉サービス受給者証、診断の内容、医療補助、受給している手当、福祉サービス利用状況	社会資源を活用できているかどうかのチェックシートです。校外学習や旅行など、福祉サービスを受ける際の参考資料としてご使用ください。	ご家族以外で児の福祉サービスを把握してほしいときなど、分かりやすく伝えることが出来ます。
	26	特別な医療や処置	点滴の管理、中心静脈栄養、透析、ストーマの処置等 使用している医療・処置の機器 安全な処置や対応のための留意事項	医療行為の必要な児童の把握と、安全面の配慮や対応などの参考資料としてご使用ください。	支援者や介助者、関係機関等への引き継ぎ資料としてご使用ください。
	27	感覚に関する情報	まひの有無、視覚、聴覚、触覚、臭覚、味覚、日常生活用具等について	感覚を必要とする授業や行事などで、(音楽・体育・運動会・給食等・・・)の対応策としてご参考ください。	学校生活やご自宅以外で配慮が必要な際、周囲の理解周知の資料として使用ください。
	28	移動・運動に関する情報	姿勢保持、姿勢変換、上肢の動き、下肢の動き、移動、使用している補助的機器等について	校内や屋内での移動手段、体育などでの更衣、トイレ介助など、介助に必要な児童に対して、介助員への引き継ぎ資料としてご使用ください。	学校生活やご自宅以外で配慮が必要な際、周囲の理解周知の資料として、または支援者・介助員への引き継ぎ資料として使用ください。
	29	食事介助について	摂食介助、食事療法、とろみ、嚥下障害、そしゃく、補食等について	給食・おやつ等の安全配慮が必要な児童のための対応法として参考にしてください。	同上
	30	アレルギー疾患用	食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支ぜん息について	同上	同上
	31	医療機関での検査の履歴	検査の名称、行った機関、実施日、結果について	新規で訪問された場合、今までの経過、検査記録や今後の検査を行う際の参考にしてください。	今までの状況を振り返る際、今までの検査を更新する際、新しい検査を受ける際等に記録していただき、今後の支援内容を検討する際の参考に使用してください。
32	ナポートシー	行事等におけるかかわり方と留意点 性格・特徴 社会性・コミュニケーション 好きなこと・得意なこと 嫌いなこと・苦手なこと	校内や屋内での移動手段、体育などでの更衣、トイレ介助など、介助に必要な児童に対して、介助員への引き継ぎ資料としてご使用ください。	学校生活やご自宅以外で配慮が必要な際、周囲の理解周知の資料として、または支援者・介助員への引き継ぎ資料としてご使用ください。	

小金井市児童発達支援センター運営協議会スケジュール

小金井市児童発達支援センター運営協議会については、下記の日程で実施を予定している。

記

1 年間実施回数

4回（平成25年度のみ2回）

2 次回以降の予定

(1) 第5回小金井市児童発達支援センター運営協議会開催日時
平成26年11月18日（火） 午前10時から

(2) 内容（予定）

- ①小金井市児童発達支援センター「きらり」
10月末までの実績報告
- ②第4回の引き継ぎ案件
- ③各委員発議の討論テーマ
- ④対象事業に対する討論
- ⑤今後の予定

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

(3) 第5回小金井市児童発達支援センター運営協議会開催日時
平成27年2月17日（火） 午前10時から

(4) 内容（予定）

- ①小金井市児童発達支援センター「きらり」
1月末までの実績報告
- ②第5回の引き継ぎ案件
- ③各委員発議の討論テーマ
- ④その他
- ⑤今後の予定

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

(5) 第6回以降

第7回小金井市児童発達支援センター運営協議会
第8回小金井市児童発達支援センター運営協議会

平成27年5月19日（火）

平成27年8月18日（火）

「ぴのきお」のゆみ

- 昭和41年 (1966年) 小金井市手をつなぐ親の会発足
- 昭和42年 (1967年) 親の会個人宅で心身に障がいを持つ幼児の保育開始
小金井市社会福祉協議会事業として、本町児童館を借り上げて保育開始
- 昭和43年 (1968年) 市民施設課福祉会館事業 (公立化)
精神発達遅延通所訓練施設「幼児グループ」発足
- 昭和47年 (1972年) 週3日 (後に4日) 保育開始 (定員 概ね20名)

- 昭和51年 (1976年) けやき保育園敷地の一部と小金井市土地開発公社用地を併合園舎設立
小金井市立幼児通所訓練施設「ピノキオ幼児園」開園



対象児を心身に障がいのある児童に拡大
健全児との交換保育等開始 (定員 概ね15名)
市マイクロバスによる送迎開始
けやき保育園給食を基礎に給食開始



- 昭和53年 (1978年) 保育課へ所管替
- 昭和55年 (1980年) 週5日の療育開始
- 平成10年 (1998年) 送迎バス業務を事業委託
- 平成21年 (2009年) 臨床心理士の配置
- 平成25年 (2013年) 東小金井駅北口土地区画整理事業に伴い移転・改築
自立生活支援課へ所管替
雲柱社へ業務委託

小金井市児童発達支援センター「きらり」児童発達支援事業通園部門
「ぴのきお」となる (定員 概ね21名)

絵画への思い

愛と希望あふれる世界

この絵は、スタジオジブリさんから児童発達支援センター「きらり」開設を記念して小金井市に寄贈されたものです。

「きらり」は、隣接だった市立けやき保育園と市立幼児通所訓練施設「ピノキオ幼児園」を一つにして建てられました。

センター開設に向け、当時の保護者は、近所のスタジオジブリの『ジブリの世界』=優しさ、勇気、困難に負けない、手を取り合い生きる世界を、新しい園の在り方に重ねました。「子ども達と全ての人々が愛と勇気を持って育っていく施設」、「私達と同じように子育てに悩む家族が少しでも早く『きらり』に足を運べるように」、「センターに変わってもけやき保育園や社会と交流が続くように」と夢をいだき、スタジオジブリさんに新センターのモニュメントをお願いしたところ「これまで近所のけやき保育園とピノキオ幼児園を何度か作品の参考にさせていただいた、その恩返しとなれば、一緒につくっていきましょう」と特別に願いを叶えてくれました。

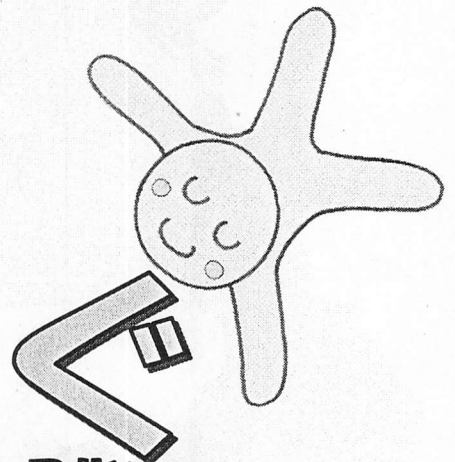
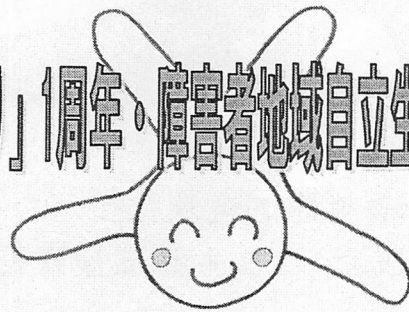
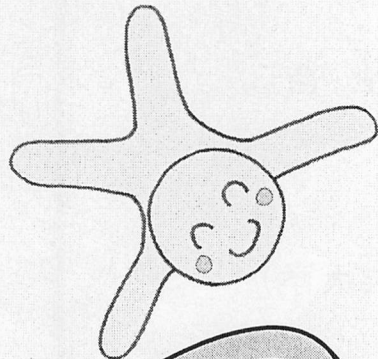
絵は「崖の上のポニョ」の背景などを担当された吉田昇さんが描いてくれました。旧幼児園をモチーフに、自然や建物が子ども達を温かく包み込んでいます。市立けやき保育園1階「いこいのひろば」には、旧保育園をモチーフにした絵が飾られています。二つの絵は組み絵で『二つで一つ』という新しい児童発達支援センターを象徴しています。

スタジオジブリさんに感謝し、地域に愛され共に歩む「きらり」、障がい乗り越えた共生の拠点「きらり」をみんなで育てていきましょう。

けやき保育園で飾られている場所
画像

- 平成25年 1月 保護者の想いをしたためた手紙を渡す
- (2014年) 2月 スタジオジブリ担当者より返答をいただく
- 3月 三者 (小金井市・スタジオジブリ・保護者) 打合せ
- 7月 在園児の保護者に絵画のヒント募集
けやき保育園・ピノキオ幼児園見学
- 8月 絵画のイメージ画お披露目
- 9月 描写方法と飾る場所の決定
けやき保育園父母役員会にて経過報告
絵画制作 (きらり3階多目的ルーム)
けやき・ピノキオ保護者へ絵画完成お披露目会
除幕式 (開設記念式典にて)

児童発達支援センター「きらり」1周年・障害者地域自立生活支援センター10周年記念講演



つながり ～子どもから大人まできらり輝ける地域を目指して～

平成26年

日時

10月1日

児童発達支援センター「きらり」が1周年となり、また、障害者地域自立生活支援センターが10周年を迎えたことを記念して、記念講演会及び各施設の状況について報告をします。

テーマを「つながり」として、小金井市での0歳から生涯に渡る支援の体制なども説明します。

また、当日は、学芸大学の高橋先生から「きらり」ができた後の小金井市の展望等について講演をしていただきます。

ぜひ、幅広い世代の方に聞いていただきたく、ご参加をお待ちしています。

場所

小金井市商工会館
2階 大会議室

(小金井市前原町三丁目33番25号)

内容

★小金井の発達支援について～next 10年を考える～

講師 高橋 智 教授(東京学芸大学)

★児童発達支援センター「きらり」・障害者自立生活支援センターの事業報告

主催：障害者地域自立生活支援センター・児童発達支援センター「きらり」
小金井市福祉保健部自立生活支援課

講演会

(1) 小金井市の現状について

発表者: 自立生活支援課長 堀池 浩二

(2) 小金井市の発達支援について

～ next 10 年を考える ～

講師: 高橋 智 教授 (東京学芸大学)

・ 児童発達支援センター「きらり」について

発表者: 児童発達支援管理責任者 中島 陽子

・ 障害者地域自立生活支援センターについて

発表者: 所長 吉岡 博之

★ 会終了後 個別相談ができます

対象

市内在住、在勤、在学の方
療育等の関係する施設で勤務の方

※ 会場の都合上、入場制限をすることがございます。

その他

* 手話通訳あり

* 保育あり (9/16 までに下記問合せ先へお申込みください。)

< 保育予約窓口 > 児童発達支援センター「きらり」

電話 0422-60-1550 FAX 0422-60-1564

次回講演

① 11 月 15 日 (土)

成人期から高齢期へつなぐ相談支援の講演会

② 12 月 6 日 (土)

障害者週間記念行事 講演会とスペシャルイベント

< 12 月 3 日～9 日 障害者週間 >

問合せ先 * 障害者地域自立生活支援センター (小金井市緑町 4-17-10)

電話 042-381-8811 FAX 042-383-8488 E-mail koganei2@atlas.plala.or.jp

* 児童発達支援センター「きらり」 (小金井市梶野町 1-2-3)

電話 0422-60-1550 FAX 0422-60-1564